

大阪都構想否決

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
さる5月17日大阪都構想の是非を問う住民投票が行われました。僅差で反対派が勝ち、橋本市長の政界引退も発表されました。私は、都構想の是非はよくわからないけど、橋本市長が行った行政改革には心から敬意を表しております。



代表取締役社長 吉田治伸

当時日本一高いと言われた大阪府や大阪市の給料、退職金、天下り、経費抑制…多くの事を逆風のなか行ってくれました。正直なところもう少しいろいろな問題提起をして欲しかったと思います。

今年の国家予算は、支出が95兆円、税収が54兆円、国債発行が36兆円とまた借金が増えた状況です。公債の累積は平成27年末には807兆円になる見込みです。危機的状況にもかかわらず、増税もせず、年金改革もせず、医療費改革もせず、公務員改革も議員定数削減もしないのであります。要は、「未来の日本を強くする」よりも「現状をぎりぎりまで変えたくない」が大勢をしめているのであります。人口減少に対する対策もなく、ますます危うい日本の円が暴落する日は近くなったと正直思います。皆さん、余裕資金は是非、ドルでお持ちになる事を提案します(私は責任とりませんけど)。

今回は、少し真面目に日本について考えてみました。橋本市長にかわる改革者が出てくることを心から期待します。

暑くなりそうな気配であります。ご自愛下さい。